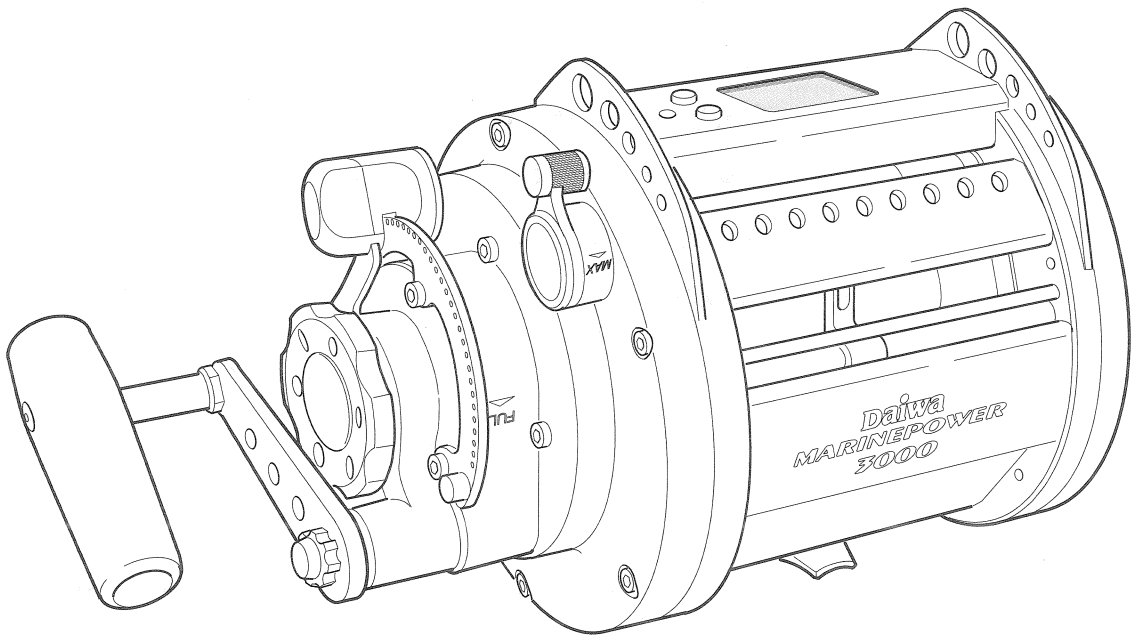
MARINEPOWER 3000

取扱説明書

この度は、マリンパワー3000をお買い上げいただきまして誠にありがとうございました。船釣りに便利な機能が多く搭載されているこの電動リールを正しくご使用いただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、リール同様この説明書も大切に保管いただきますようお願い申し上げます。



Daiwa
COMMITTED TO TOTAL QUALITY
ダイワ精工株式会社
6Y4068010

目次

安全上の注意 ---- 1
ご使用上の注意 ---- 1

電源について ---- 2,3
電源とのつなぎ方 ---- 2
電源について ---- 3
バッテリーチェック表示について ---- 3

お手入れ方法 ---- 4,5
リールのお手入れについて ---- 4
お手入れ方法 ---- 4
コード取扱い上のご注意・コードのお手入れについて ---- 5
コードのお手入れのしかた ---- 5
その他お手入れ上のご注意 ---- 5

各部の名称と機能 ---- 6,7

スイッチの名称と働き ---- 8,9

道糸をリールに巻きます ---- 10,11

下巻き入力もできます ---- 12,13

釣りを始める前に ---- 14

機能設定 ---- 15～18
船べり自動停止 ---- 15
底からカウンター ---- 16
べんり機能（表示補正モード） ---- 17
道糸データ修正 ---- 18

その他のべんり機能 ---- 19
いろいろアラーム ---- 19
カウンターランプ ---- 19

ロッドクランプの取り付け方法 ---- 20

仕様一覧 ---- 20

展開図 ---- 21

故障かな？と考える前に ---- 22

安全上の注意

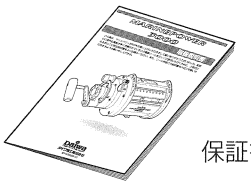
●ご使用上の注意

警告		①レベルワインドと本体の間に指をはさまないよう注意してください。けがをする恐れがあります。 ②ロッドクランプを未装着のままご使用になりますと、竿からリールが脱落してしまう恐れがあります。（ご使用になる時は必ず装着して下さい）
注意		①根掛かりしたときは、竿をあおらずに切るようにしてください。 ②リールを長期間収納するときは、水分を完全に切り、なるべく通風性のよい場所に保管してください。 また、ドラグをいっぱいに締めた状態でご使用の場合には、ドラグをゆるめてください。 ③落下などの強いショックがかかると、破損する場合がありますので、お取扱いにはじゅうぶんご注意ください。 ④糸が勢いよく出ているときに、糸をつかまないでください。糸で指を切ることがあります。 ⑤リールを釣り以外の目的で使用しないでください。 ⑥リールの回転部にはグリスや油が付いていますので、服を汚さないように注意してください。 ⑦ワイヤーは、道糸として使用しないでください。
		①バッテリー、船電源等を使用する場合は、所定電圧以外を使用しないでください。所定の電圧以外を使用すると、電動リールが発熱し、手をヤケドする恐れがあります。
		①回転しているとき、回転部分に触れないでください。けがをする恐れがあります。
		①分解・改良などはしないでください。

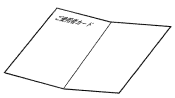
■付属品

コード類

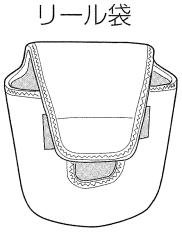
取扱説明書



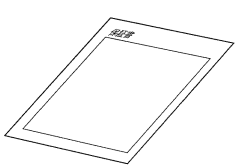
ご愛用者カード



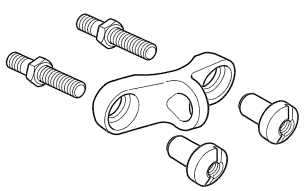
リール袋



保証書

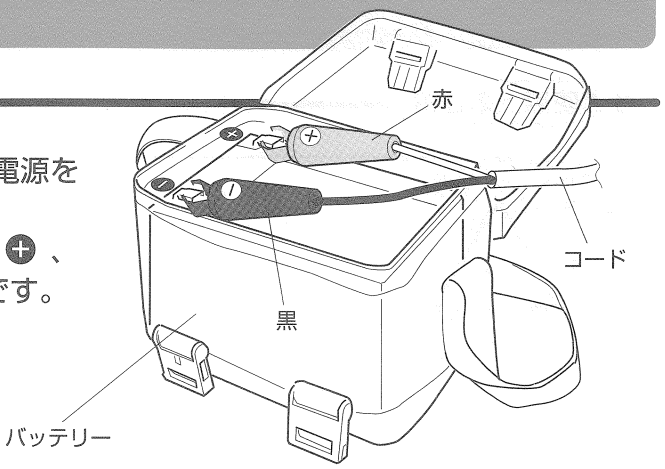


クランププレート・ナット



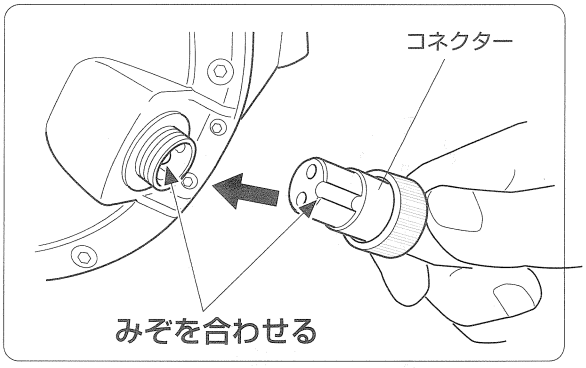
電源について

●電源のつなぎ方

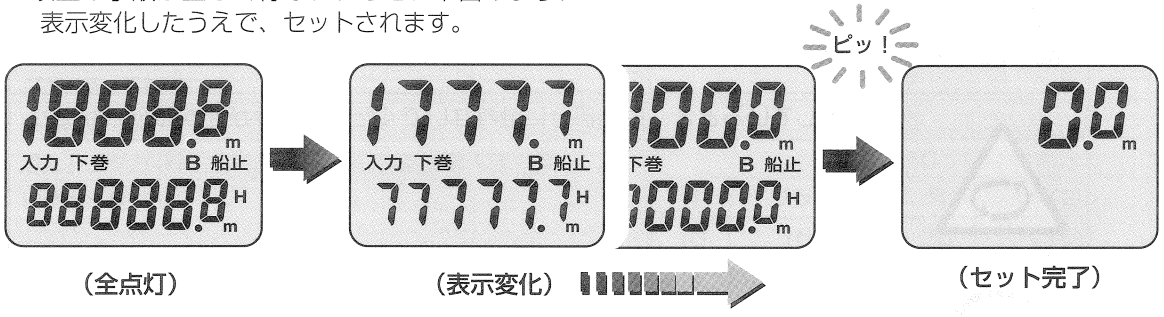


1.まず、コードのクリップ（2つ）と電源をつないでください。
クリップは赤いカバーのほうがプラス ⊕ 、黒いカバーのほうがマイナス ⊖ です。

2.次に、付属コードのコネクターとリール本体をつないでください。



※以上の手順が正しく行なわれると、下図のように表示変化したうえで、セットされます。



（全点灯）　（表示変化）　（セット完了）

・1度電源につなぐと、メモリーバックアップ（カウンター情報の保存）機能が働くため（最低15分間）、その後の電源との再接続時には、上記の表示変化がされないでセットが完了するケースがありますが、問題はありません。

●ブレーカーシステム

・モーターに過負荷がかかった場合、モーターを保護するためのブレーカーが働きます。作動中はアラームが鳴ります。（ブレーカーは最長30秒間作動し、自動復帰します。）

●メモリーバックアップ機構

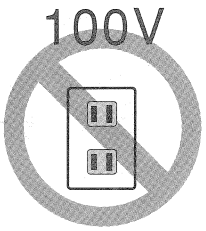
不意にコードが外れても安心。カウンター情報をしばらく保存。つなぎ直せば元どおり。

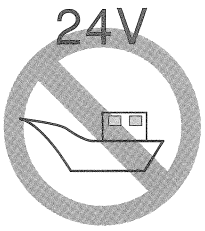
・実釣中、コードがはずれるなどして、一時的に電源が切れても、最低15分間、電源が切れる寸前のカウンターパネル内の表示をICが記憶しています。ですから万が一、コードがはずれても、そのままコードへつなぎ直せば、カウンターパネル内の表示が再現され、再スタートできます。

※モーター回転中の電源切れのときは、つなぎ直しても安全のため回転はOFFにされています。

●電源について

このリールは直流（DC）12V対応の電動リールです。指定外の電源（たとえば、家庭用の交流（AC）100V、船装備の直流24Vなど）では使用できません。
また、船電源は、発電機や配線の関係で電圧が不安定になりやすいので、リールの保護回路が働いて回転が停止したり、断続的になってしまうことがあります。
リールの性能を充分に発揮させるためにも、当社製エナジーパックなどの、電動リール専用バッテリーをご使用ください。

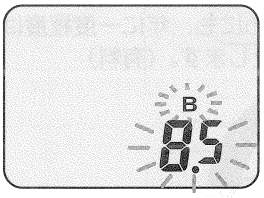




・出発前によく確かめてください。
1.バッテリーは、長時間放置されると自然放電（残量低下）している可能性があります。釣行前には、必ず充電を行なってください。
2.船の電源は、電圧、接続端子の形状などにより使用できないことがあります。事前にご確認することをおすすめします。
・端子のサビなどによりリールが正常に作動しない場合があります。サビなどは取り除いてご使用ください。

●バッテリーチェック表示について

通電時（巻上げ中または巻上げストップ時）に、電源電圧がDC9V以下になると、底からカウンター（下のカウンター）に電源電圧と B マークが点滅表示されます。
モーター回転がストップしているときにこの表示が点滅している場合、バッテリー残量の減少による電圧低下が考えられます。
そのときには、バッテリーを充電したものと交換してください。（船電源をご使用の場合は、電源の電圧や端子をチェックしてください。）



※図では、電圧が8.5Vしかないことを示しています。

お手入れ方法

●リールのお手入れについて

このリールは水洗いできる「洗える電動リール」です。釣りが終わった後で汚れなどをきれいに洗い流してください。

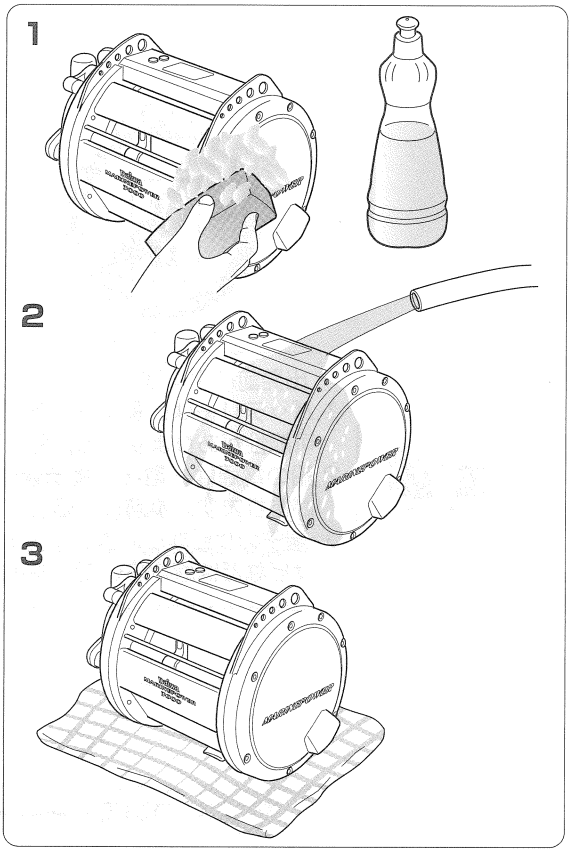
●お手入れ方法

1.中性洗剤を含ませた、柔らかいスポンジなどでリール本体を洗い、汚れを落とします。

※洗剤は中性洗剤のみを使用してください。

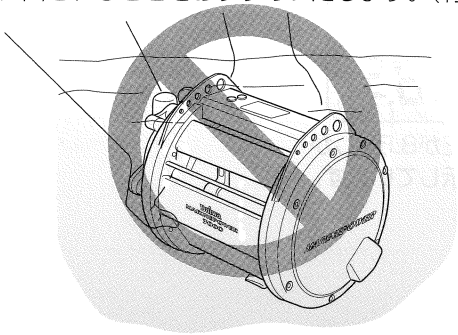
2.水をかけて洗剤と汚れをよく落としてください。スプール部にもよく水をかけて塩分を落としてください。

3.よく水を切り、陰干ししてください。



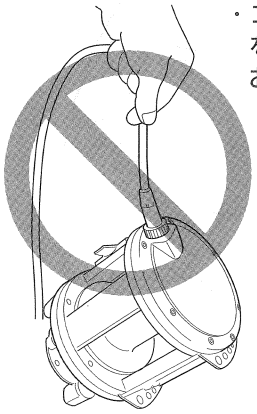
・水の中につけて洗うことは絶対にしないでください。
・ベンジン、シンナーなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。
・リール本体に傷が付きますので、みがき粉、タワシ、スチールタワシなどは絶対に使用しないでください。

・市販の防錆潤滑剤等の使用は、結果的にボールベアリング、ギヤー等の耐久性を損なう恐れがございますのでおやめください。作動部の注油は、ダイワリールガードグリスをご使用ください。
・リールを末永く快適にご使用になるためにも、年に一度程度は当社アフターサービスセンターへオーバーホールに出されることをおすすめいたします。(有料)

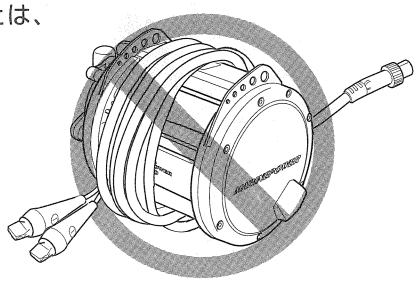


●コード取扱い上のご注意・コードのお手入れについて

コードの断線等によるトラブルをさけるために必ず守ってください。
※コードを改造することはおやめください。思わぬ故障の原因となります。コードは大切にしてください。

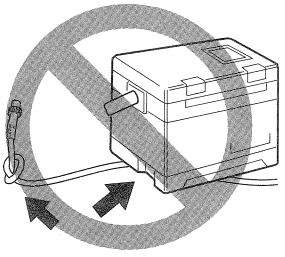


・コードを持ってリールをぶらさげることは、おやめください。



・リール本体にコードを差し込んだまま本体にぐるぐる巻き付けることは、おやめください。

・コードを水洗いすることは、おやめください。

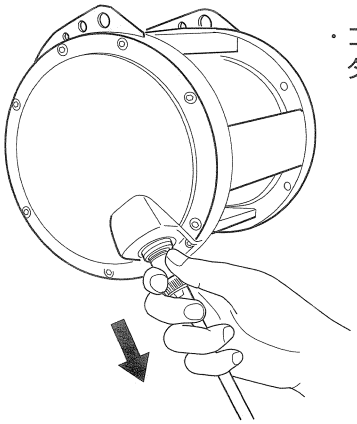


・コードの上に重い物を乗せたり、コードを結んでしまうような行為は、おやめください。

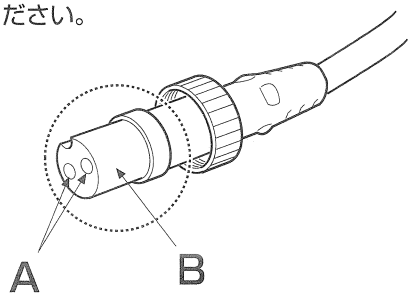
●コードのお手入れのしかた

・ご使用後は、水道水または温湯で浸した柔らかい布で、外観部の汚れを拭き取り、よく乾かしてください。
・特に、ワニグチクリップは、カバーを外して、完全に乾かしてください。
・乾燥後は、コネクター部の注油を行なってください。
・リールのコードは、本体から外して保管してください。

●その他お手入れ上のご注意



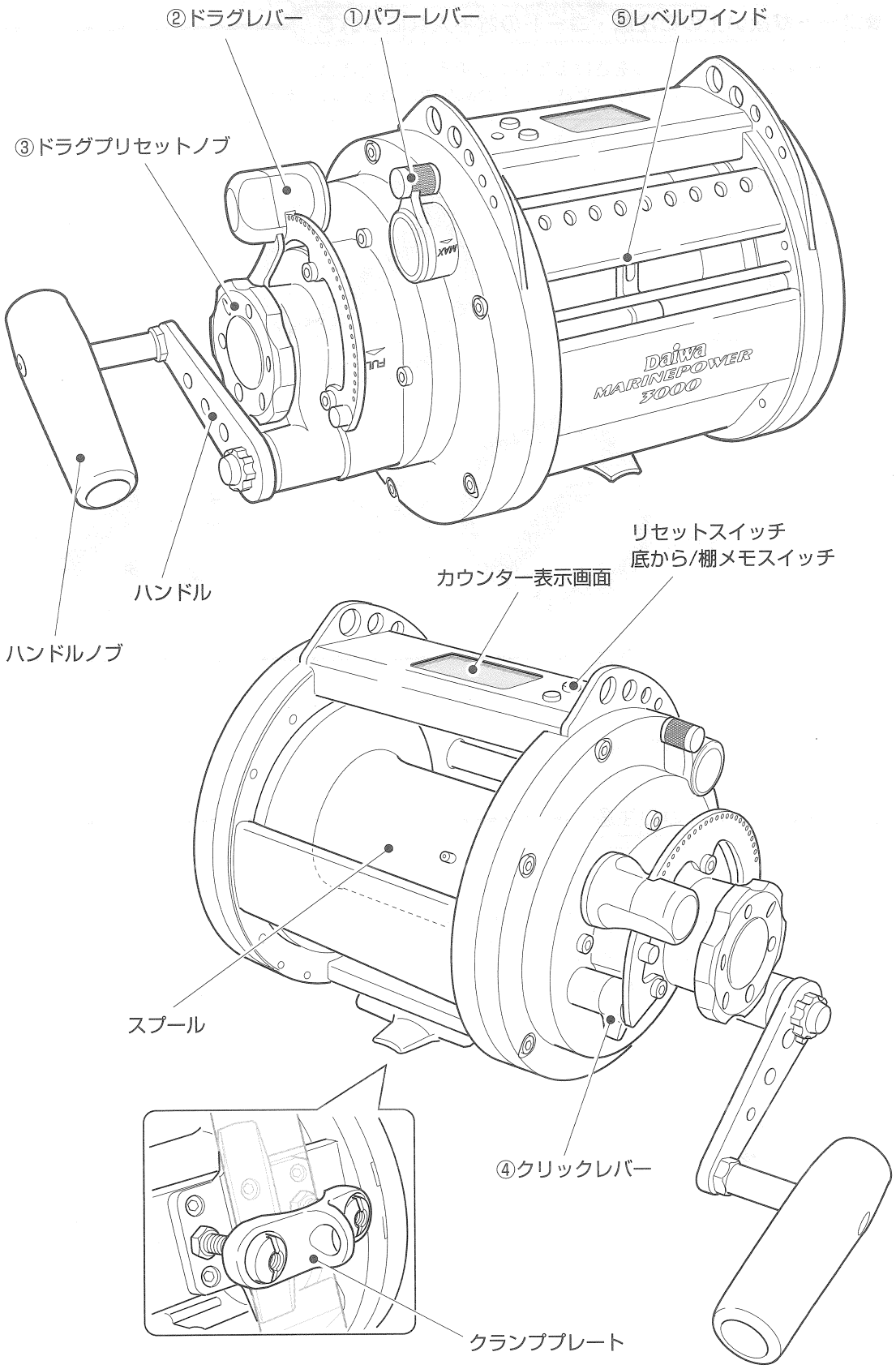
・コードを抜くときは、必ずコネクター部を持って抜いてください。



・A（ピン）、B（外周部）に注油してください。

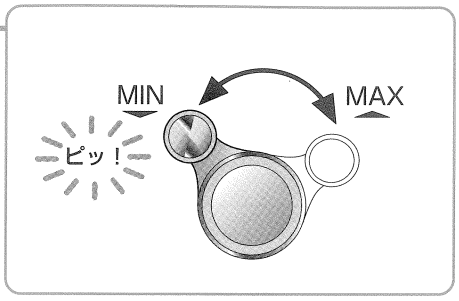
・このリールは電気回路、モーターなどの精密な部品を内蔵しておりますので、お客さまご自身での分解組み立ては極めて困難です。おやめください。
・古いコードは断線、ショート等故障の原因となりますので、リールの性能を維持すめためにも、2年での交換をおすすめ致します。

各部の名称と機能


②ドラグレバー
①パワーレバー
⑤レベルワインド
③ドラグプリセットノブ
ハンドル
ハンドルノブ
リセットスイッチ
底から/棚メモスイッチ
カウンター表示画面
スプール
④クリックレバー
クランププレート
Daiwa
MARINEPOWER
5000

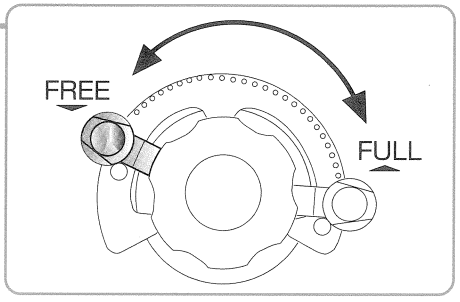
①パワーレバー

・レバー操作により巻上げパワー（スピード）が、MIN～MAXまで自由自在に変速することができます。
・レバーを前に倒すと、パワー（スピード）アップします。
　レバーを元に戻せば、パワー（スピード）ダウンします。
・巻上げを開始するとき、パワーレバーがMINの位置にないときは、レバーを一度MINの位置まで戻して（MINの位置でアラームが鳴ります）から、レバーを前に倒して巻上げを開始してください。
・べんり機能設定画面での数値の設定はパワーレバーで行います。
・パワーレバーをMAXにすると数値は上がります。
・パワーレバーをMINにすると数値は下がります。



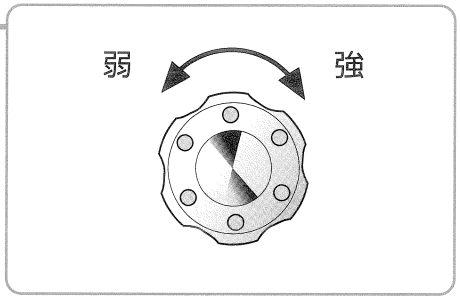
②ドラグレバー

・レバーを手前に引くとスプールがフリーになります。
・レバーを前方へ押すとドラグ力が高くなります。
・ドラグ最大からフリーへの操作がワンタッチレバー操作で可能です。



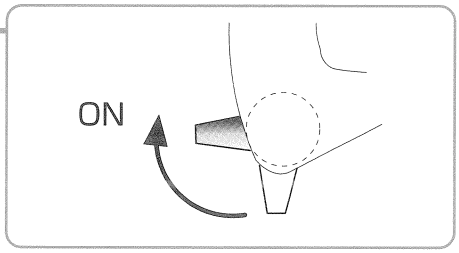
③ドラグプリセットノブ

・ドラグレバーをフリー位置にして、仕掛けがスムーズに落ちるようにドラグプリセットノブを調整してください。
・プリセットを締めるとドラグ力は高くなります。
・プリセットを締めすぎるとフリーにならないのでご注意ください。
・実釣中にドラグ力の微調整が必要な場合、ドラグレバーでも可能ですが、ドラグプリセットノブで調整するとより微調整ができます。



④クリックレバー

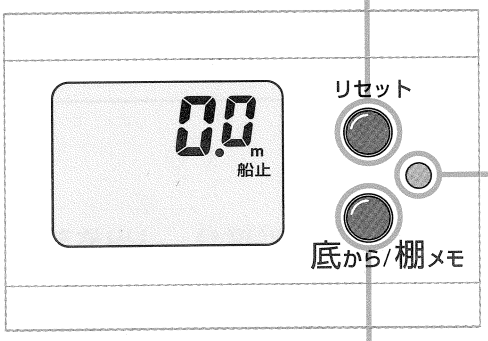
・クリックレバーをONの位置にスライドするとスプール回転時クリック音が出ます。



⑤レベルワインド

・レベルワインドの穴に糸を通します。糸がスプールに平行に巻けます。
※レベルワインド機構は、その作動クリアランスにより、糸巻き状態に若干の片寄りが見られる場合があります。
※レベルワインドから糸を巻き込んでスプールの糸とレベルワインドの位置がズレてしまうと、仕掛け落下時抵抗になりますので、巻き込みにはご注意ください。

スイッチの名称と働き



リセット

リセット スイッチを押すと、上のカウンター（水深カウンター）が 0.0 mになります。

※釣りを始める前に、リセット スイッチを必ず1度押してください。スイッチを押した点を基準に、船べり自動停止位置が設定されます。
（画面に 船止 の表示が出ます。）

・リセット スイッチは誤操作防止のため、10m以上では、5秒押しとなっております。

巻上げ表示ランプ

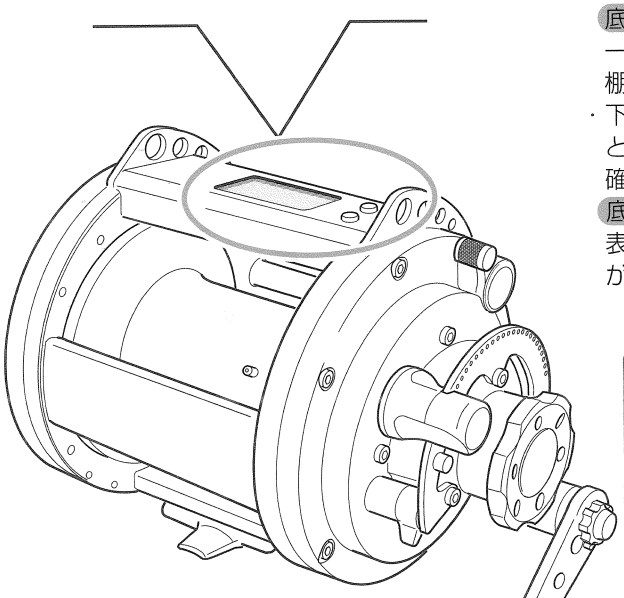
・電動での巻上げ中はランプが点灯します。
・ブレーカーが間もなく作動する状態になるとゆっくり点滅します。
・ブレーカーが作動するとランプが点滅します。

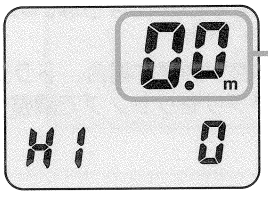
底から/棚メモ

底から/棚メモ スイッチを押すと、下のカウンター（底からカウンター）が 0.0 mとなり、狙いの棚がメモリーされます。

・下のカウンター（底からカウンター）を見ながら棚とりを行えるので、誰でもかんたんに、しかも正確にできます。

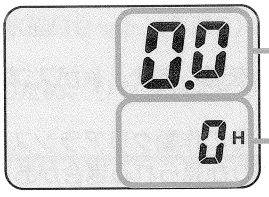
底から/棚メモ スイッチを3秒以上押し続けると表示補正→総実釣時間/総巻上長さを確認することができます。





※上のカウンターの数字は、その時の水深になります。

表示補正画面



総巻上長さ（km）

実釣総時間（H）

上からカウンター

・上（海面）からの水深を表示します。

設定表示

・べんり機能の設定画面を表示します。
・セットして作動する機能は下の表示が点灯します。
船止 が点灯→ リセット スイッチを押すと点灯します。
入力 が点灯→道糸入力時点灯します。
下巻 が点灯→下巻入力時点灯します。
B が点滅→電源電圧が低下した時点滅します。

底からカウンター

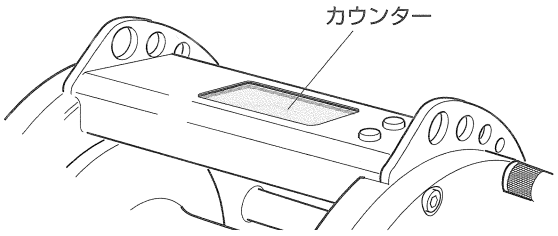
・底（棚）からの水深を表示します。
（初期通電時は、消灯しています）
・ 底から/棚メモ スイッチを押すと表示されます。

スピード表示

・モーター回転中は、巻上げスピード（パワー）を表示します。（表示は点滅）

■カウンター部について

・偏光グラスの使用時。
・真冬（カウンターの表面温度－10℃以下）および真夏（カウンターの表面温度60℃以上）
上記の場合には液晶の特性上文字が見にくくなることがございます。ご了承ください。
・急激な温度変化を与えると、一時的にくもる場合がありますが異常ではありません。



道糸をリールに巻きます

■入力画面にしてから、最後に巻いた糸の長さをセットする入力方法です。

1.道糸をレベルワインドに通してスプールに結んでください。

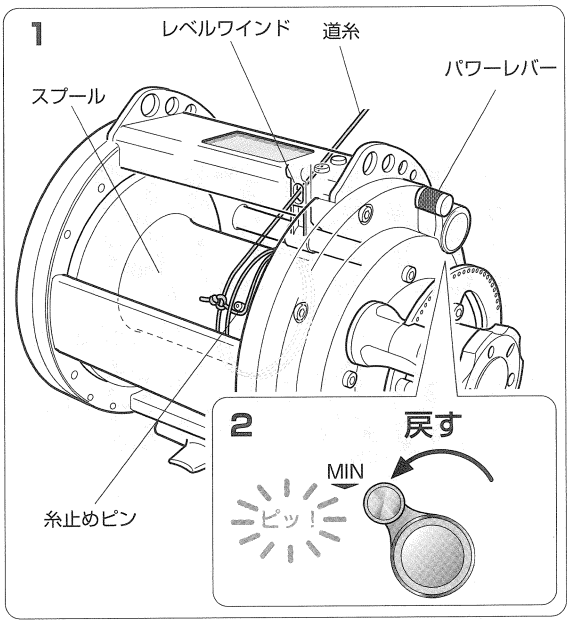
※スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンを利用して巻きつけてください。

2.パワーレバーをMINまで戻します。

3.ワニグチクリップを電源（DC12V）につなぎます。

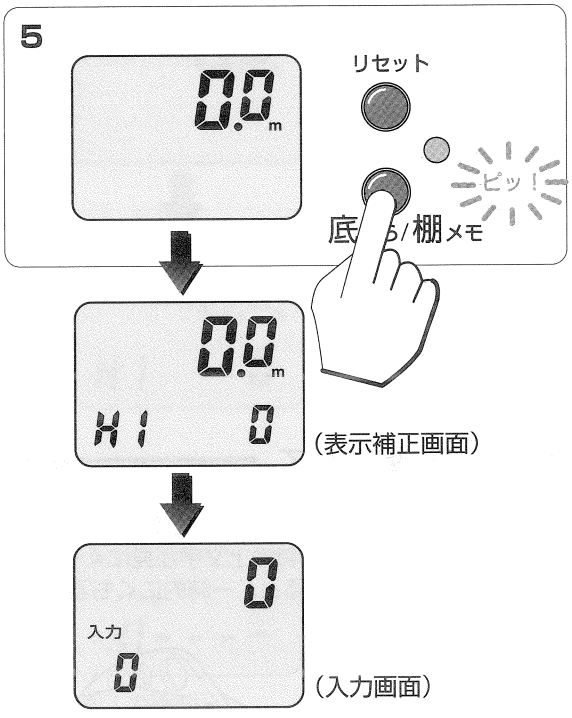
4.コードコネクターをリール本体に取り付けます。

※接続方法についてはP.2電源とのつなぎ方を参照ください。



5.表示 0.0 のときに、底から/棚メモ スイッチを5秒以上押し続けてください。

（表示補正画面になりますが 底から/棚メモ スイッチを押し続けてください。）

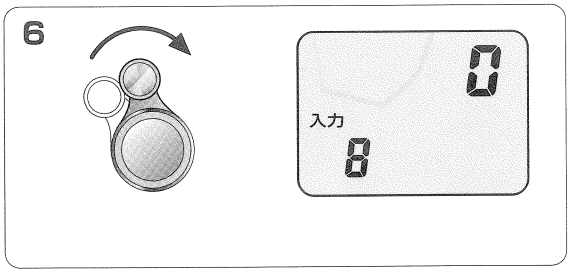


6.パワーレバーを倒して道糸を巻きます。

（パワーレバーを倒すとテンション表示に変わります。）

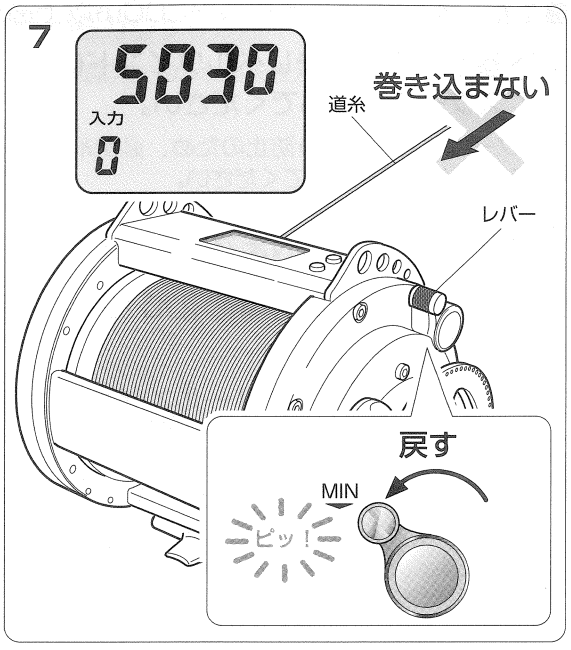
パワーレバーMAXの場合にパネル左下の数字が、8～9になるようにテンションを調整して巻いてください。

※MAXで巻かない場合は少し低いテンションで巻いてください。

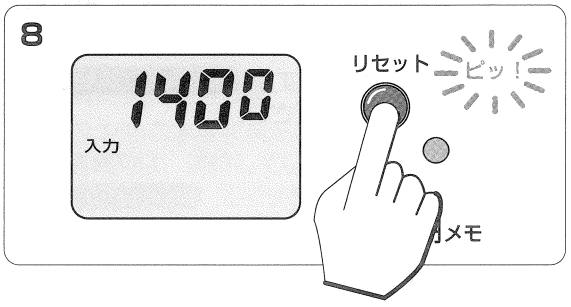


7.巻き終わったらパワーレバーをMINの位置まで戻します。(アラーム音)

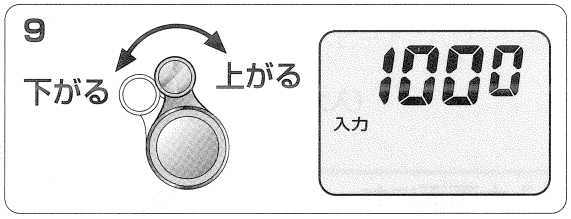
・糸を全部巻き込まないようにしてください。手前でパワーレバーをMINの位置にし、ハンドルで巻いてください。巻き込みますとカウンター誤差の原因にもなります。



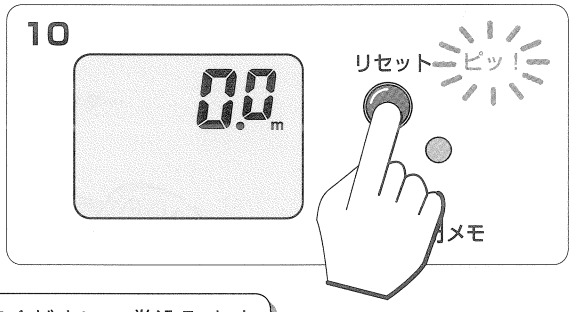
8. リセット スイッチを2秒以上、表示が 1400 になるまで押してください。



9.パワーレバーで道糸の長さをセットします。
(図は1000m入力した場合です。)



10. リセット スイッチを2秒以上押してください。
(アラーム音が鳴り、表示が 0.0 になれば完了です。)
※ Err になった場合は、再度入力をしてください。



・糸を全部巻込まないようにしてください。巻込みますと、レベルワインドとの位置がズレてしまい、仕掛け落ちが遅くなる原因になります。

下巻き入力もできます

■ただし長さのわかる道糸が200m以上必要です。

1.下巻となる道糸をレベルワインドに通してスプールに結んでください。

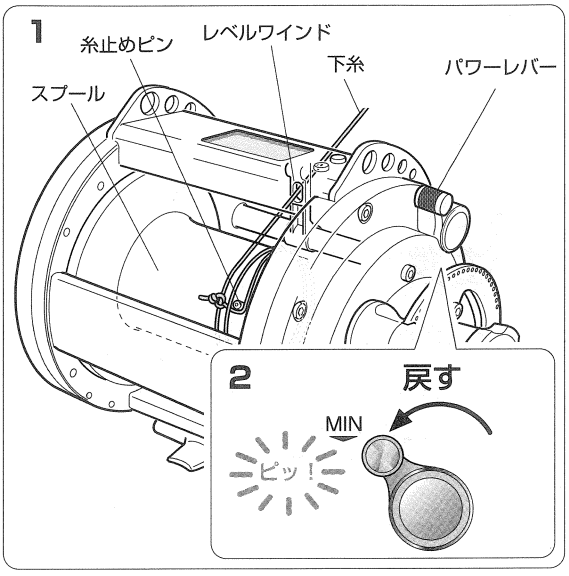
※スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンを利用して巻きつけてください。

2.パワーレバーをMINまで戻します。

3.ワニグチクリップを電源（DC12V）につなぎます。

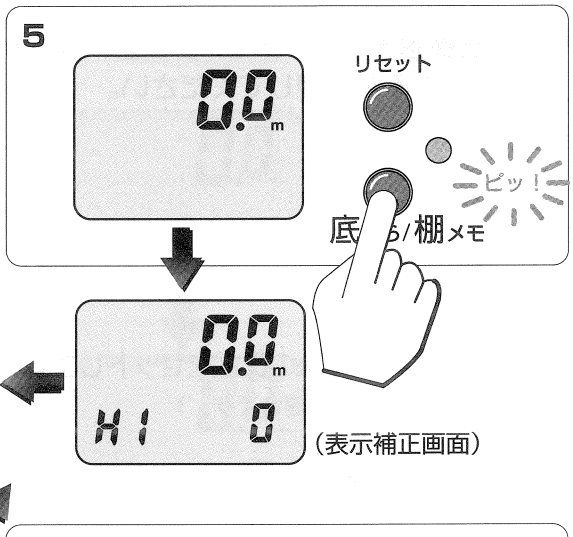
4.コードコネクターをリール本体に取り付けます。

※接続方法についてはP.2電源とのつなぎ方を参照ください。

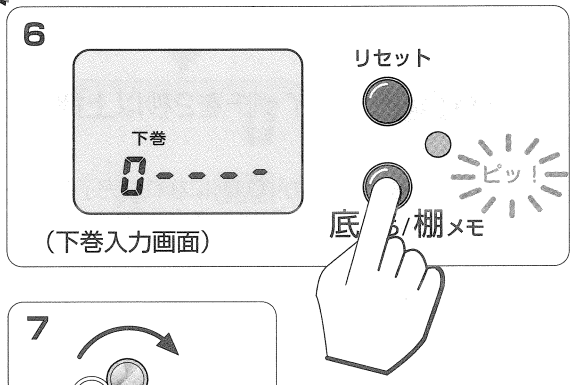


5.表示 0.0 のときに、底から/棚メモ スイッチを5秒以上押し続けてください。

（表示補正画面になりますが 底から/棚メモ スイッチを押し続けてください。）



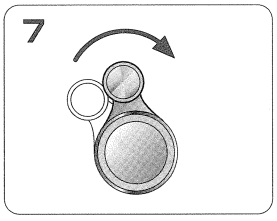
6.入力画面になったらもう一度 底から/棚メモ スイッチを押して下巻き画面にしてください。



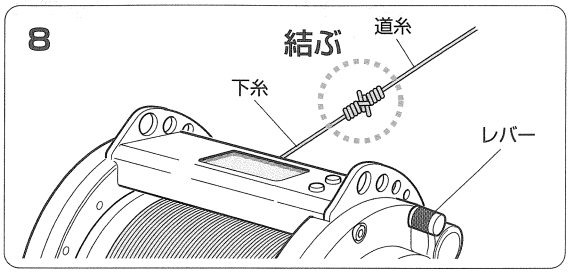
7.テンションをかけながら下巻き糸を最後まで巻いてください。

パワーレバーMAXの場合にパネル左下の数字が、8～9になるようにテンションを調整して巻いてください。

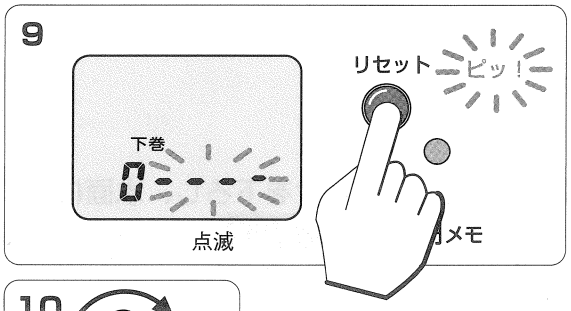
※MAXで巻かない場合は少し低いテンションで巻いてください。



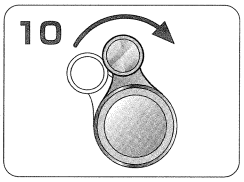
8.上糸をしっかり結びます。



9. リセット ボタンを押してください。

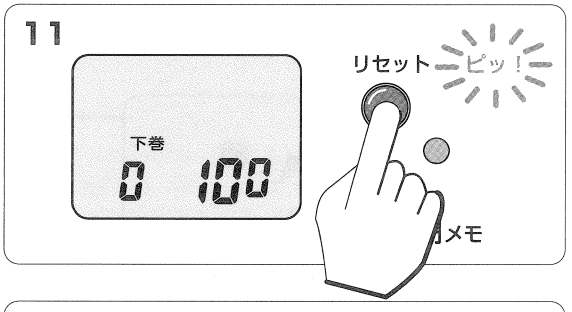


10.テンションをかけて残り200mになるまで道糸を巻いてください。



11. リセット スイッチを2秒以上押してください。

下の数字が 100 になります。



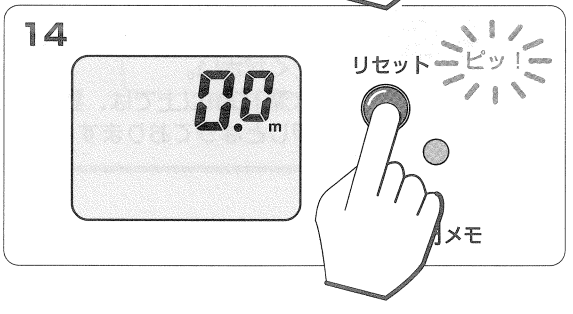
12.糸色に注意しながら残り100mになるまで巻いてください。

13. リセット スイッチを2秒以上押してください。

下の数字が 200 になります。

14.最後の100mを巻き、 リセット スイッチを2秒以上押してください。

表示が 0.0 mになります。これで完了です。

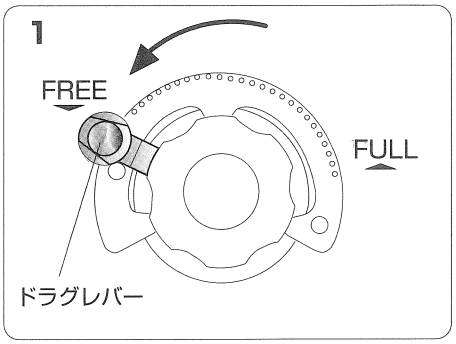


・糸を全部巻き込まないようにしてください。手前でパワーレバーをMINの位置にし、ハンドルで巻いてください。巻き込みますとカウンター誤差の原因にもなります。

釣りを始める前に

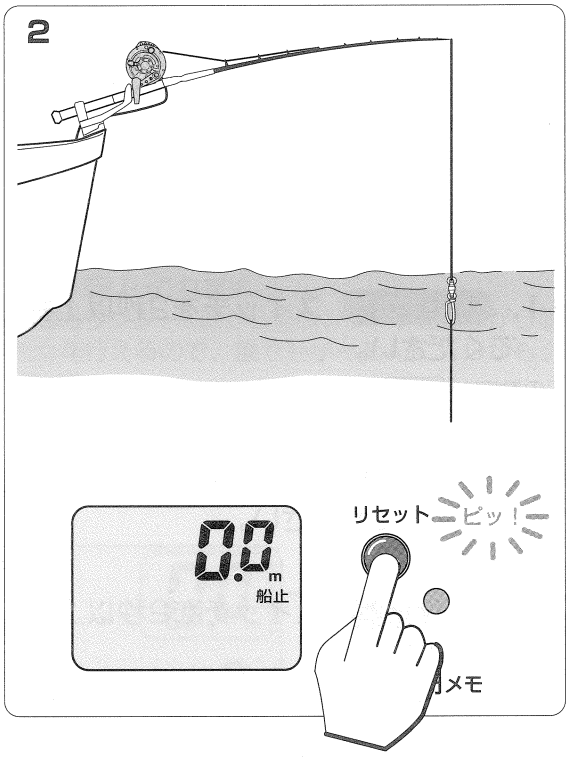
■水面ゼロ設定　釣りを始める前に必ず行ってください。狙った水深に正確に仕掛けを投入することができます。

1.コードをつなぎ、ドラグレバーをFREEにして糸を出し、仕掛けをセットします。



2.竿を出し、仕掛けを下ろし、水面に目印があるときに リセット スイッチを押します。

表示が 0.0 mになります。



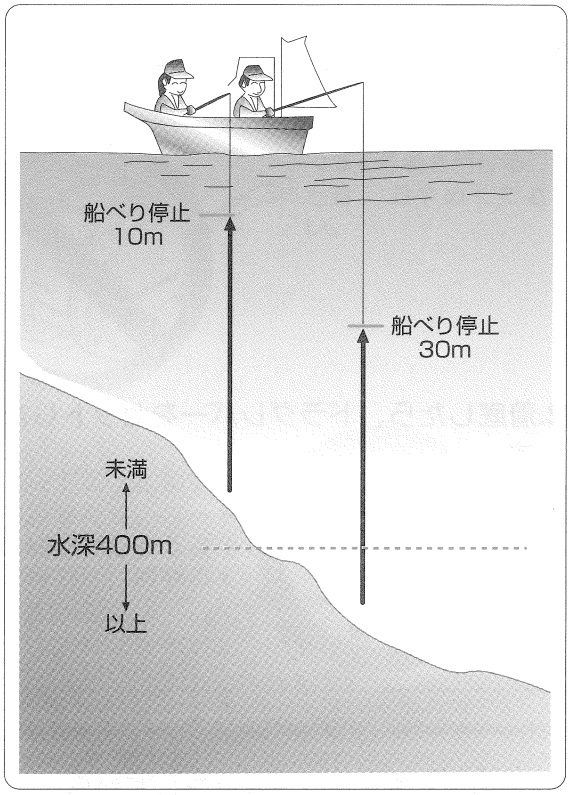
・新しい糸を巻いたときや、大物を掛けたときは糸の伸びにより船べり停止位置がずれることがあります。そのときは再度水面0セット（手順2）を行なってください。
・道糸が切れてしまった場合は再度水面0セット（手順2）を行なってください。
水深10m以上では、誤操作防止のため、リセットスイッチは5秒押しとなっております。

機能設定（船べり自動停止）

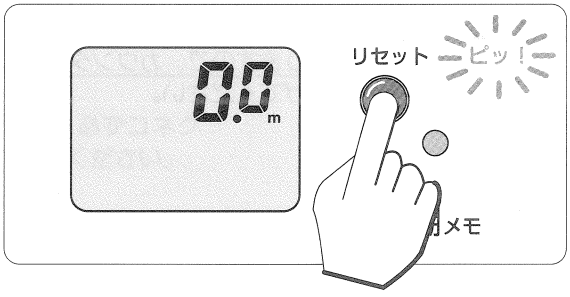
■仕掛けを巻き込んで竿先を折る等の危険防止のため、電動巻上げが自動で止まる船べり自動停止機能が付いています。

・水深400m未満の場合は10m
・水深400m以上の場合は30mで停止します。

※前回の巻上げ時と大きなテンション変動があった場合に、大きく糸が残ったり、巻込む場合がありますのでご注意ください。また、その際は再度水面0セットを行ってください。
※水面0設定についてはP.14を参照ください。



・ 船べり停止後は、パワーレバーを操作することにより、カウンター 0.0 mまでは巻上げますが、カウンター 0.0 m後は、誤操作による竿巻込み防止のため リセット スイッチを押さない限り、パワーレバーでは巻上げしません。

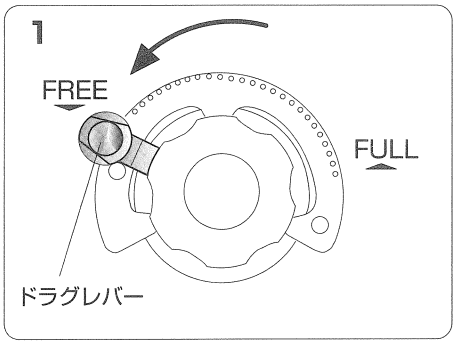


機能設定（底からカウンター）

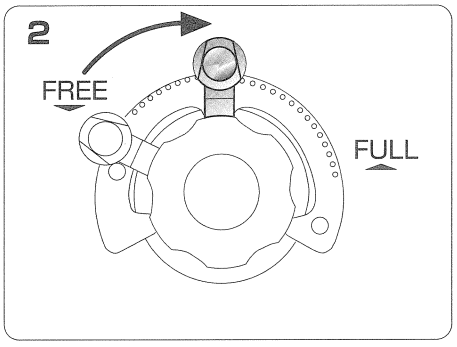
■上からも底からも測れる2つのカウンターが棚を両面攻撃。

水深100m、底から6mで釣りをする場合を例にします。

1. ドラグレバーをFREEにして仕掛けを投入します。

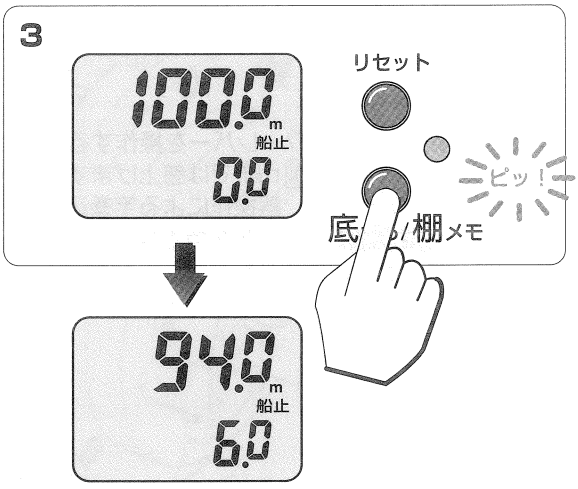


2. 着底したら、ドラグレバーをセットします。



3. 糸ふけを巻き取り底取りをしてから、底から/棚メモ スイッチを押し、棚までの距離（例：下から6m）を巻上げます。

※ 底から/棚メモ スイッチを押すと、下のカウンター表示が 0.0 mになりますので、カウンターを見ながら必要なだけ巻上げてください。



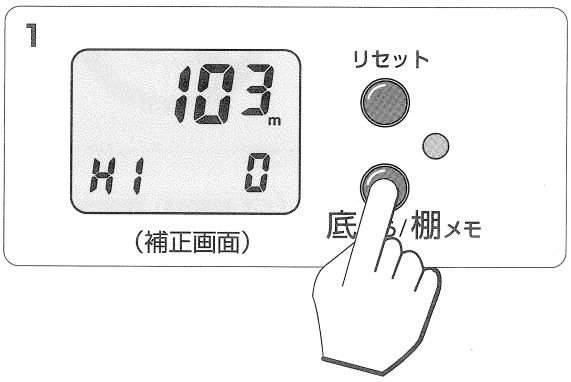
機能設定（べんり機能（表示補正モード））

■カウンターの表示が糸色に対してズレてきた時補正することができます。

（例）糸色ではちょうど100mに対しカウンターの表示103mを、糸色100mに合わせ補正する場合。

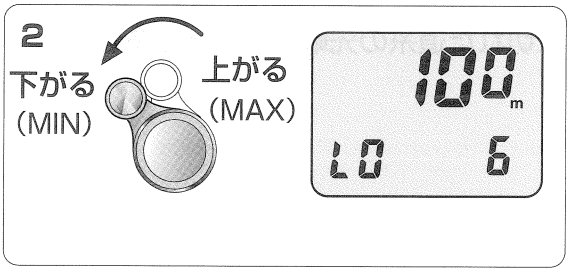
1. 底から/棚メモ スイッチを3秒押します。

（補正画面になります。）



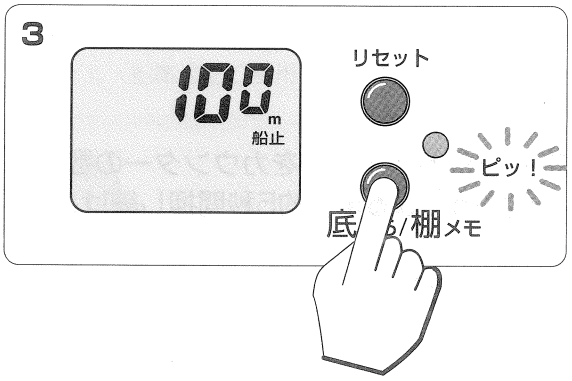
2.パワーレバーを、上のカウンターが100になるまで手間（MIN）に戻してください。

※下がりすぎてしまった場合は、MAXにすれば数値は上がります。



3.100にセットできたら 底から/棚メモ スイッチを2度押します。

水深画面に戻れば完了です。

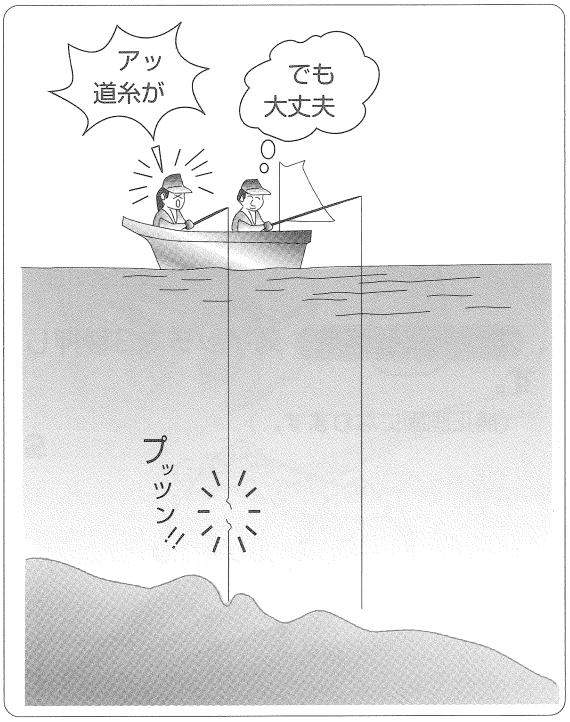


※補正画面の時、リセット スイッチを押せば、元の表示に戻ります。

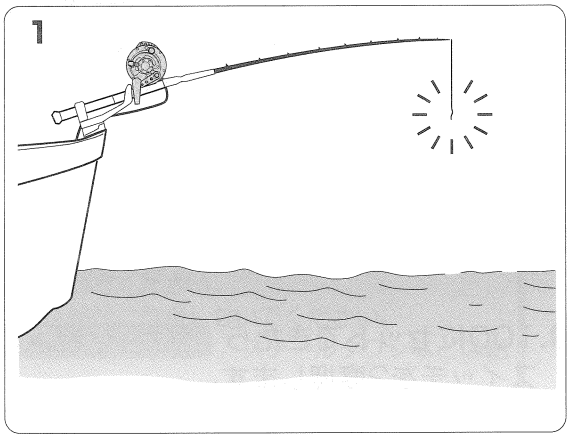
機能設定（道糸データ修正）

■釣り場で道糸が切れてもデータ修正一発！！

水中で道糸が切れてしまった。！

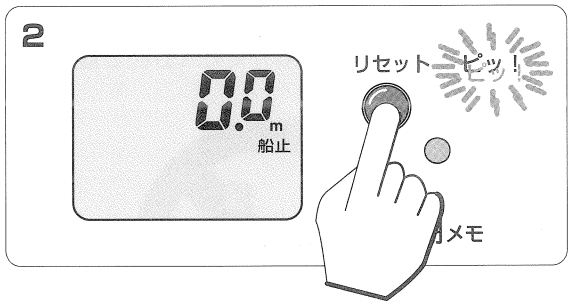


1.切れた道糸の先端を竿先まで巻きます。



2.リセットスイッチをカウンターの数字が
0.0 mになるまで約5秒間押し続けます。

この状態になれば完了です。



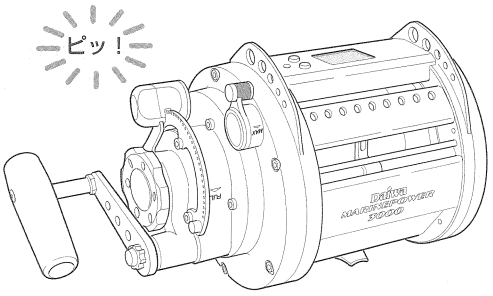
その他のべんり機能

●いろいろアラーム

船べり、棚メモリー・・・さまざまな情報を音でお知らせ。いろいろなアラーム。

・パワーレバーアラーム

・パワーレバーのMAXの位置と、MINの位置をアラーム音でお知らせします。



・スイッチアラーム

・各スイッチを押すと、アラーム（ピッ）が鳴り、スイッチが確実に押されたことを音で確かめられます。

※すべてのスイッチ、いずれを押してもアラームが鳴ります。

・船べりお知らせアラーム

・仕掛けが船べりにだんだん近付いて来るのをお知らせします。
・水深400m未満の場合は、船べり停止8m手前より2m間隔でピッ、船べり停止位置でピーッと鳴り、
・水深400m以上の場合は、船べり停止20m手前より10mまで5m間隔、残り8m手前より2m間隔でピッ、船べり停止位置でピーッと鳴り、仕掛けが船べりにだんだん近付いて来るのをお知らせします。

・棚メモリーお知らせアラーム

・仕掛け投入中、メモリーした棚の6m手前より2m間隔でピッ、メモリーした棚ではピーッと鳴り、メモリーした棚にだんだん近付いて行くのをお知らせします。

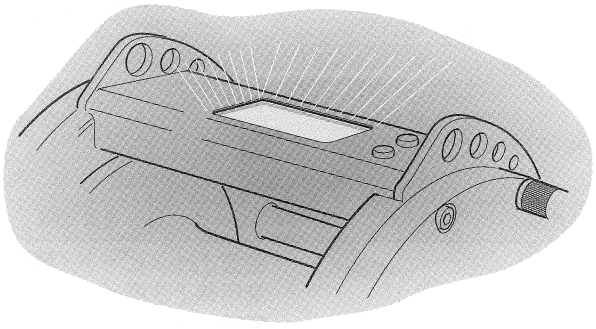
※棚さぐり時に頻繁にアラームが鳴らないように、棚メモリーお知らせアラームはメモリーした棚より6m以上巻上げてから、再度糸を出さないと鳴らないようになっています。

・過電圧警告アラーム

・電源電圧がリールの使用可能範囲より高いとき、連続アラーム音を発し、警告します。ただちにその電源の使用をおやめください。

●カウンターランプ

・通電中はいつもカウンター内のランプがついていますので、朝早い出船や夜釣りのときも、カウンターパネルはくっきり見えます。



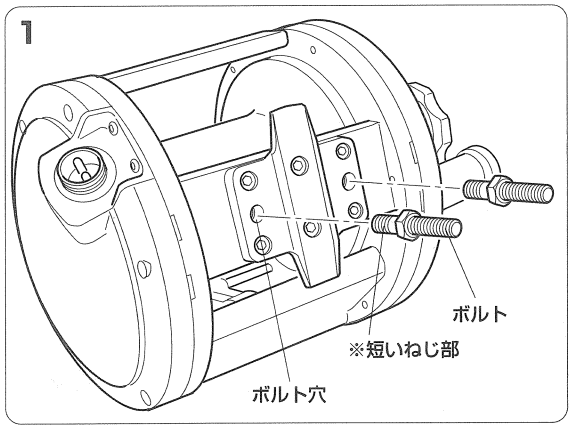
ロッドクランプ取り付け方法

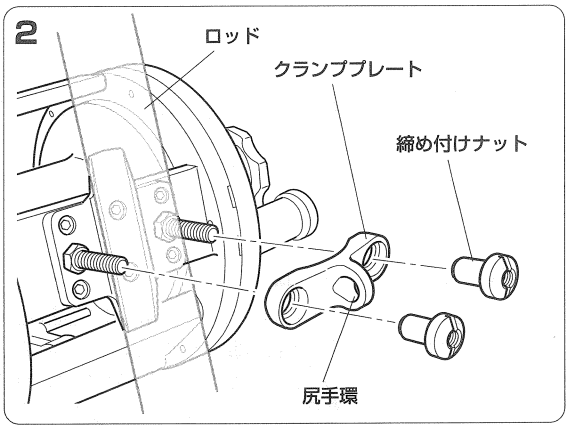
1.リール下のボルト穴にボルトを取り付け、六角部をスパナでしっかり締込み固定します。

※ボルトの短い方を取り付けます。長い方を締込むとスプール回転部へねじ部が出て、けがやトラブルの原因となります。

2.リールをロッドにセットし、ロッドをはさみこむように、ロッドの下からクランププレートをあてて締め付けナットで固定します。

※船上からの落下防止のために、尻手環に尻手ロープをつないでおくことをおすすめします。





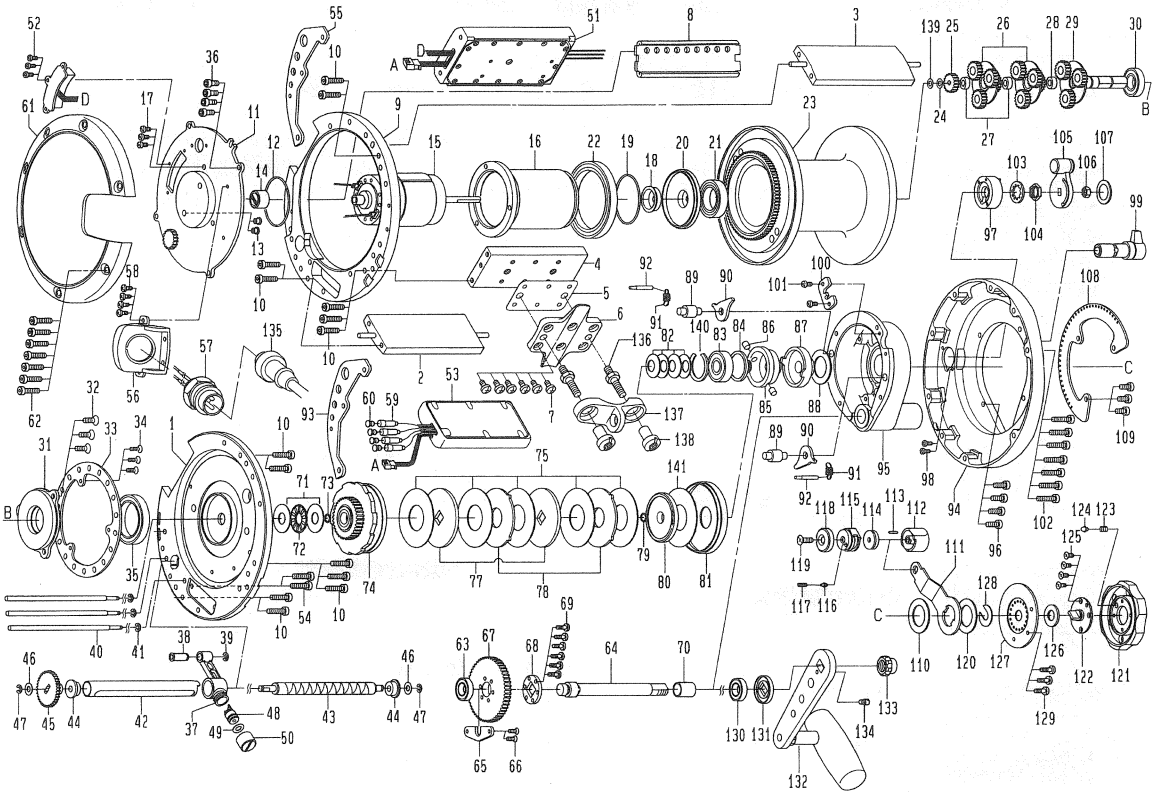
仕様一覧

製品コード		00801210			
ギヤー比（手動時）		1.7			
標準自重（kg）		5.5			
最大ドラグ力（kg）［スプール最小径の場合/最大径の場合］		90/50			
標準巻糸量（m）		号	ブライト	号	ナイロン
		10	1600	20	1100
		12	1400	24	900
		15	1100	30	700
		30	600		
ボールベアリング入数		16			
電源電圧		DC12V～16.8V			
無負荷時巻上げ速度（パワーレバーMAX）		85m/分			
常用巻上げ速度（1kg負荷時）		80m/分			
瞬間最大巻上げ力		80kg（252kgcm）			
電流（A）	無負荷時	6.0			
	最大	40			
	定格	12.0			
変速機能	無負荷時	0～85m/分（無段階変速）			

・空巻きHiスピード（無負荷時）＝電源電圧12V、スプール最大時の速度。
・常用巻上速度＝1kg負荷時の100m巻上げ速度の平均。
・瞬間最大巻上力＝電源電圧12V、スプール最小径時の瞬間的なパワー。
・（　）内はトルク換算値です。
・船電源によっては十分に性能が発揮できない場合があります。

展開図

マリンパワー3000



No.	部品名	No.	部品名	No.	部品名	No.	部品名
1	RSｾｯﾄﾌﾟﾚｰﾄ	36	LｾｯﾄﾌﾟﾚｰﾄSC	71	ﾄﾞﾗｸﾞﾎﾙﾀﾞｰﾍﾞｱﾘﾝｸﾞW	107	ﾊﾟﾜｰﾚﾊﾞｰﾅｯﾄｶﾊﾞｰ
2	ﾊﾟｰﾐﾝｸﾞﾌﾟﾚｰﾄ(A)/ﾈｰﾑ	37	ﾚﾊﾞｰﾙｳｲﾝﾄﾞ	72	ﾄﾞﾗｸﾞﾎﾙﾀﾞｰﾍﾞｱﾘﾝｸﾞ	108	ﾄﾞﾗｸﾞﾚﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄ
3	ﾊﾟｰﾐﾝｸﾞﾌﾟﾚｰﾄ(B)	38	ﾎﾞｽﾄｶﾗｰ	73	ﾄﾞﾗｸﾞﾎﾙﾀﾞｰ-Oﾘﾝｸﾞ(A)	109	ﾄﾞﾗｸﾞﾚﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄSC
4	ｽﾀﾝﾄﾞﾌﾟﾚｰﾄ(A)	39	ﾎﾞｽﾄｶﾗｰﾘﾃｨﾅｰ	74	ﾄﾞﾗｸﾞﾎﾙﾀﾞｰ	110	ﾄﾞﾗｸﾞﾚﾊﾞｰ-W(A)
5	ｽﾀﾝﾄﾞﾌﾟﾚｰﾄ(B)	40	ﾎﾞｽﾄ	75	ﾄﾞﾗｸﾞW	111	ﾄﾞﾗｸﾞﾚﾊﾞｰ
6	ｽﾀﾝﾄﾞ	41	ﾎﾞｽﾄﾘﾃｨﾅｰ	77	ﾄﾞﾗｸﾞﾃﾞｽｸW	112	ﾄﾞﾗｸﾞﾉﾌﾞ
7	ｸﾗﾝﾌﾟSC(ｼｮｰﾄ)	42	ｳｫｰﾑｼｰﾙﾄﾞ	78	ﾄﾞﾗｸﾞﾘｯﾌﾟW	113	ﾄﾞﾗｸﾞﾉﾌﾞﾋﾟﾝ
8	ﾌｨﾝｶﾞｰｶﾞｰﾄﾞ	43	ｳｫｰﾑｼｬﾌﾄ	79	ﾄﾞﾗｸﾞﾎﾙﾀﾞｰ-Oﾘﾝｸﾞ(B)	114	ﾄﾞﾗｸﾞﾉﾌﾞW
9	LSﾘﾝｸﾞ	44	ｳｫｰﾑｼｬﾌﾄｶﾗｰ	80	ﾄﾞﾗｸﾞｶﾗｰ	115	ﾄﾞﾗｸﾞﾉﾌﾞﾒﾀﾙ
10	ｽﾀﾝﾄﾞﾌﾟﾚｰﾄSC	45	ｳｫｰﾑｼｬﾌﾄｷﾞﾔｰ	81	ﾄﾞﾗｸﾞﾊﾟｯｷﾝ	116	ﾄﾞﾗｸﾞﾉﾌﾞﾒﾀﾙﾋﾟﾝ
11	LSｾｯﾄﾌﾟﾚｰﾄ	46	ｳｫｰﾑｼｬﾌﾄW	82	ﾄﾞﾗｸﾞSP･W	117	ﾄﾞﾗｸﾞﾉﾌﾞﾒﾀﾙﾋﾟﾝSP
12	ｾｯﾄﾌﾟﾚｰﾄﾓｰﾀｰﾘﾝｸﾞ	47	ｳｫｰﾑｼｬﾌﾄﾘﾃｨﾅｰ	83	ﾄﾞﾗｸﾞﾎﾞｰﾙﾍﾞｱﾘﾝｸﾞ	118	ﾄﾞﾗｸﾞﾉﾌﾞｷｬｯﾌﾟ
13	ﾓｰﾀｰｺｰﾄﾞｶﾗｰ	48	ﾎﾞｰﾙ	84	ﾄﾞﾗｸﾞｶﾑSC	119	ﾄﾞﾗｸﾞﾉﾌﾞｷｬｯﾌﾟSC
14	ﾓｰﾀｰﾒﾀﾙ	49	ﾎﾞｰﾙW	85	ﾄﾞﾗｸﾞｶﾑ(A)	120	ﾄﾞﾗｸﾞﾚﾊﾞｰ-W(B)
15	ﾓｰﾀｰ	50	ﾎﾞｰﾙﾎﾙﾀﾞｰﾅｯﾄ	86	ﾄﾞﾗｸﾞｶﾑﾋﾟﾝ	121	ﾌﾟﾘｾｯﾄﾉﾌﾞ
16	ﾓｰﾀｰﾎﾙﾀﾞｰ	51	ICﾓｼﾞｭｰﾙ	87	ﾄﾞﾗｸﾞｶﾑ(B)	122	ﾌﾟﾘｾｯﾄﾉﾌﾞﾒﾀﾙ
17	ﾓｰﾀｰﾎﾙﾀﾞｰSC	52	ｽﾌﾟｰﾙｾﾝｻｰSC	88	ﾄﾞﾗｸﾞｶﾑW	123	ﾌﾟﾘｾｯﾄﾉﾌﾞｸﾘｯｸSP
18	ﾓｰﾀｰﾊﾟｯｷﾝ	53	ﾓｰﾀｰﾊﾟﾜｰﾓｼﾞｭｰﾙ	89	ｽﾄｯﾊﾟｰﾋﾟﾝ	124	ﾌﾟﾘｾｯﾄﾉﾌﾞｸﾘｯｸﾋﾟﾝ
19	ﾓｰﾀｰﾎﾙﾀﾞｰﾌﾟﾚｰﾄOﾘﾝｸﾞ	54	ﾊﾟﾜｰﾓｼﾞｭｰﾙSC	90	ｽﾄｯﾊﾟｰ	125	ﾌﾟﾘｾｯﾄﾉﾌﾞﾒﾀﾙSC
20	ﾓｰﾀｰﾎﾙﾀﾞｰﾌﾟﾚｰﾄ	55	ICﾌﾟﾛﾃｸﾀｰﾌﾟﾚｰﾄ	91	ｽﾄｯﾊﾟｰSP	126	ﾌﾟﾘｾｯﾄﾉﾌﾞﾒﾀﾙW
21	ｽﾌﾟｰﾙﾎﾞｰﾙﾍﾞｱﾘﾝｸﾞ(A)	56	ﾚｾﾌﾟﾀｸﾙ	92	ｽﾄｯﾊﾟｰSPﾋﾟﾝ	127	ﾌﾟﾘｾｯﾄﾌﾞﾌﾟﾚｰﾄ
22	ﾓｰﾀｰﾎﾙﾀﾞｰﾎﾞｰﾙﾍﾞｱﾘﾝｸﾞ/CRBB	57	ﾚｾﾌﾟﾀｸﾙﾎﾙﾀﾞｰSC	93	ICﾌﾟﾛﾃｸﾀｰﾌﾟﾚｰﾄ	128	ﾄﾞﾗｸﾞﾚﾊﾞｰﾘﾃｨﾅｰ
23	ｽﾌﾟｰﾙ	58	ﾚｾﾌﾟﾀｸﾙﾎﾙﾀﾞｰSC	94	RSﾌﾟﾚｰﾄ	129	ﾌﾟﾘｾｯﾄﾌﾞﾌﾟﾚｰﾄSC
24	ｽﾌﾟｰﾙｷﾞﾔｰW(A)	59	ﾊﾟﾜｰﾓｼﾞｭｰﾙｺｰﾄﾞｶﾊﾞｰ(A)	95	RSｾｯﾄﾌﾟﾚｰﾄ	130	ﾊﾝﾄﾞﾙﾎﾞｰﾙﾍﾞｱﾘﾝｸﾞ
25	ｽﾌﾟｰﾙｷﾞﾔｰ	60	ﾊﾟﾜｰﾓｼﾞｭｰﾙｺｰﾄﾞｶﾊﾞｰ(B)	96	RSｾｯﾄﾌﾟﾚｰﾄSC	131	ﾊﾝﾄﾞﾙｶﾗｰ
26	ﾓｰﾀｰｷﾞﾔｰ(A)	61	LSﾌﾟﾚｰﾄ	97	ﾊﾟﾜｰﾚﾊﾞｰｶﾗｰ	132	ﾊﾝﾄﾞﾙ
27	ﾓｰﾀｰｷﾞﾔｰ(A)ﾍﾞｱﾘﾝｸﾞ	62	LSﾌﾟﾚｰﾄSC	98	ﾊﾟﾜｰﾚﾊﾞｰｶﾗｰSC	133	ﾊﾝﾄﾞﾙﾅｯﾄ
29	ﾓｰﾀｰｷﾞﾔｰ(B)	63	ｷﾞﾔｰｼｬﾌﾄﾎﾞｰﾙﾍﾞｱﾘﾝｸﾞ	99	ｸﾘｯｸﾚﾊﾞｰ	134	ﾊﾝﾄﾞﾙﾅｯﾄSC
28	ﾓｰﾀｰｷﾞﾔｰ(B)ﾍﾞｱﾘﾝｸﾞ	64	ｷﾞﾔｰｼｬﾌﾄ	100	ｸﾘｯｸﾚﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄ	135	ｺｰﾄﾞ
30	ﾓｰﾀｰｷﾞﾔｰﾎﾞｰﾙﾍﾞｱﾘﾝｸﾞ	65	ｷﾞﾔｰｼｬﾌﾄﾘﾃｨﾅｰ	101	ｸﾘｯｸﾚﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄSC	136	ｸﾗﾝﾌﾟSC(ﾛﾝｸﾞ)
31	ｽﾌﾟｰﾙﾌﾟﾚｰﾄ(A)	66	ｷﾞﾔｰｼｬﾌﾄﾘﾃｨﾅｰSC	102	RSﾌﾟﾚｰﾄSC	137	ﾛｯﾄﾞｸﾗﾝﾌﾟ
32	ｽﾌﾟｰﾙﾌﾟﾚｰﾄ(A)SC	67	ﾄﾞﾗｲﾌﾞｷﾞﾔｰ	103	ﾊﾟﾜｰﾚﾊﾞｰｶﾗｰW	138	ｸﾗﾝﾌﾟﾅｯﾄ
33	ｽﾌﾟｰﾙﾌﾟﾚｰﾄ(B)	68	ﾄﾞﾗｲﾌﾞｷﾞﾔｰﾌﾟﾚｰﾄ	104	ﾊﾟﾜｰﾚﾊﾞｰｶﾗｰﾅｯﾄ	139	ｽﾌﾟｰﾙｷﾞﾔｰW(B)
34	ｽﾌﾟｰﾙﾌﾟﾚｰﾄ(B)SC	69	ﾄﾞﾗｲﾌﾞｷﾞﾔｰﾌﾟﾚｰﾄSC	105	ﾊﾟﾜｰﾚﾊﾞｰ	140	ﾄﾞﾗｸﾞﾘﾝｸﾞ
35	ｽﾌﾟｰﾙﾎﾞｰﾙﾍﾞｱﾘﾝｸﾞ(B)/CRBB	70	ｷﾞﾔｰｼｬﾌﾄｶﾗｰ	106	ﾊﾟﾜｰﾚﾊﾞｰﾅｯﾄ	141	ﾄﾞﾗｸﾞﾊﾟｯｷﾝW

※調整、その他により、展開図、部品表内容が製品と一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

故障かな？と考える前に

下記の点検が行なわれてもなお、正常に戻らない場合、およびほかの故障が生じ修理が必要な場合、あるいは部品御注文の際は、お買い求めの販売店、取説裏面に記載されたお客様センター、または最寄りの営業所におたずねください。

症　状	考えられる原因	処　置	参照ページ
パワーレバーを操作しても、モーターが回転しない。	・船べり停止後、そのまま巻き続けカウンター表示が 0.0 mになっています。	・正常です。（巻込み防止のため手動以外作動しないようにしてあります） リセット スイッチを押せば巻き上げ可能になります。	8,15
	・レバーを1度OFFの位置に戻していません。	・1度レバーをOFFの位置にもどして巻上げを開始してください。	7
	・船の電源を使用しています。	・船電源は不安定で、正常に作動しないことがあります。電動リール専用バッテリーをご使用ください。	3
カウンターがつかない。	・バッテリーの残量切れです。	・バッテリーを再充電してご使用ください。	3
	・コードの断線です。	・コードを新品と交換してください。	5
	・バッテリーに ⊕ 、⊖ が正しく接続されていません。	・正しく接続しなおしてください。	2
底からカウンターがつかない。	・棚をセットしていません。（ 底から/棚メモ スイッチを押していません）	・正常です。（ 底から/棚メモ スイッチを押さないと底からカウンターは点灯しないようにしてあります）	8
勝手にシャクるような巻き方になる。	・バッテリー残量減少などによる電圧低下が考えられます。	・バッテリーを充電されたものと交換してください。	3
	・船の電源を使用しています。	・船電源は不安定で、正常に作動しないことがあります。電動リール専用バッテリーをご使用ください。	3
船べり停止位置がおかしい。	・仕掛けセットしたとき、 リセット スイッチを押していません。	・仕掛けをセットした後は必ず水面0リセットをしてください。	14
	・魚の有無、オモリの号数や船のゆれによって多少ズレることがあります。		14～15
	・糸がのびて水面0リセット点が下にズレてしまった。	・水面0リセットを再度行なってください。	14
カウンター表示に誤差が多い。	・使用中に道糸がのびることがあり、カウンター表示と色糸との間に差が生じることがあります。	・基準となるところで、水面の0リセットをしてください。	14
	・魚の有無により、大きく張力が変動しました。	・表示補正をしてください。	17

●アフターサービスについて

本製品は当社の厳重な検査を経て出荷されたものですが、万一、故障が生じ修理が必要な場合、あるいは部品御注文の際はお買い求めの販売店、または下記のお客様センター・営業所・アフターサービス課までお問い合わせください。なお、修理品は部品代のほか手数料をいただきますのでご了承ください。

Daiwa 信頼の全国サービスネットワーク

●札幌営業所	〒065-0010	札幌市東区北10条東16-1-20	TEL 011-741-2255
●仙台営業所	〒981-1105	仙台市太白区西中田6-12-3	TEL 022-306-0211
●富山営業所	〒939-8087	富山市大泉町1-1-10 ヤクルトビル1F	TEL 0764-25-1911
●東京営業所	〒203-8511	東京都東久留米市前沢3-14-16	TEL 0424-75-2124
●名古屋営業所	〒488-0033	尾張旭市東本地ヶ原町3-74	TEL 0561-53-0900
●大阪営業所	〒565-0853	吹田市春日3-4-5	TEL 06-6330-4411
●福山営業所	〒721-0973	広島県福山市南蔵王町2-15-10	TEL 0849-25-8330
●高松営業所	〒761-8071	高松市伏石町17-1	TEL 087-864-5411
●福岡営業所	〒816-0922	大野城市山田1-3-5	TEL 092-593-5011

・お客様センター（無料）
TEL.0120-506-204
お問い合わせ受付時間　AM9:00～PM5:00
（※土、日、祝、祭日は除きます）

・アフターサービス課　TEL 0424-75-2104

ダイワ精工株式会社
http://www.daiwaseiko.co.jp/
〒203-8511　東京都東久留米市前沢3-14-16